

治験業務に関する意見交換会（第22回）参加者募集

テーマ：日本でDCT（分散化臨床試験）は実現できるのか ～医療機関側は何を準備すればよいの？～

新型コロナウイルスの感染拡大をきっかけに、医療や治験を取り巻く環境は大きく変化しました。被験者の来院に依存しない治験（分散化臨床試験、Decentralized Clinical Trial、以下DCT）の実施を目的とし、電磁的手法を用いた説明および同意（e-consent）、遠隔診療、訪問看護の利用や被験者宅への治験薬配送などが可能となりました。

DCTを活用することで、今まで遠隔地のために治験に参加することを諦めていた患者にとって治療の選択肢が増え、多岐にわたる疾患の治験にDCTを取り入れることができれば、より多くの患者が治験へアクセスできるようになると期待されています。

しかしながら、DCTに関してまだ不明な部分も多く、IRBにおける審査、他機関との情報共有や契約、個人情報保護および被験者の倫理性や安全性の確保など、DCT実施体制の整備に消極的な医療機関も少なくないと考えます。

そこで「日本でDCT（分散化臨床試験）は実現できるのか」「医療機関側は何を準備すればよいのか」などを意見交換する会を企画しました。

今回の意見交換会では、日本製薬工業協会の方々との協力を得て、治験実施医療機関と治験依頼者のそれぞれの担当者がDCTに対する情報を共有し、被験者にとってより安心して円滑なDCT実施体制の構築に向けて、意見交換したいと考えています。治験業務を始めたばかりの方から経験豊富な方までみなさん奮ってご参加ください。

参加を希望される方は、以下URLまたはQRコードからお申込みください。

https://eventpay.jp/event_info/?shop_code=9710578846909564&EventCode=7991552043

申込期限は、**2024年2月29日(木)**です。

なお、募集人数に達しましたら、申込期限前でも募集を終了させていただきます。



◆開催日時：**2024年3月23日(土)13時から17時30分**

◆開催方法：**Web会議システム(Zoom)によるWeb開催**

◆主催：東京都病院薬剤師会(都病薬)

◆プログラム：

<講演>

「DCTに関する現状と今後の展望(40分)」 日本製薬工業協会 医薬品評価委員会 臨床評価部会 高野 仁志

「日本でDCT(分散化臨床試験)は実現できるのか ～医療機関は何を準備すればよいの?～(20分)」

東京都病院薬剤師会臨床試験推進小委員会 森山 菜緒

<スモールグループグループディスカッション、ディスカッション結果発表(120分)>

<総合討論(60分)>

◆対象：治験業務に携わっている方(今後携わる予定の方を含む)

薬剤師のみならず、他職種の方およびSMO、製薬企業、CROにご所属の方も参加いただけます。

◆参加募集人数：50名

◆参加費：都病薬会員1,500円、非会員3,000円

◆意見交換会開始から終了まで参加された方には以下を交付いたします。(終了後に郵送いたします)

・修了証(出席者全員)

・東京都病院薬剤師会 生涯研修認定制度 2.25単位(都病薬会員のみ)

・日本病院薬剤師会研修単位シール 2.5単位(研修番号Ⅱ-6薬剤師の希望者のみ)(予定)

・日本臨床薬理学会認定CRC制度が認める研修会 5点(出席者全員)

・日本SMO協会 公認CRC・公認SMAの更新ポイント1点(公認CRC・公認SMAのみ)

<問い合わせ窓口>東京都病院薬剤師会事務局 山崎 メールアドレス:info@thpa.or.jp

※演者や演題が予告なく変更になる場合がありますので、ご承知おきください。

※天候不良や災害等で研修会を中止する場合は、都病薬ホームページにてお知らせしますのでご確認ください。

主催：一般社団法人東京都病院薬剤師会